

H30.11.6 第2回社会教育委員会議
都市整備部 公園緑地課

城山公園サウンディング型市場調査 の実施について

都市整備部 公園緑地課

1 城山公園再整備事業の内容

信濃美術館の建替えに伴う

■噴水広場の整備

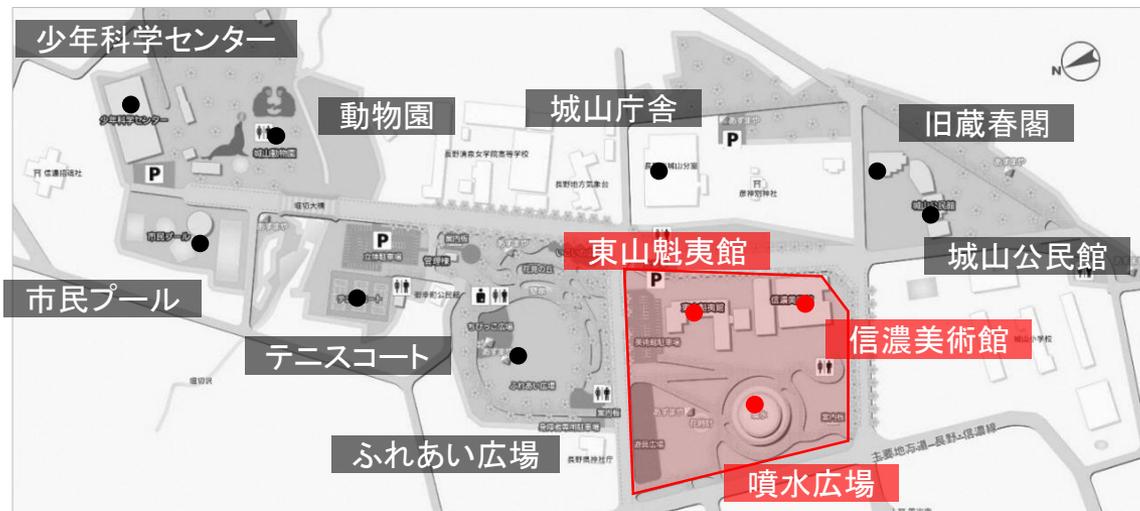
○整備目標: 2020年中の完成を目指す



多くの施設が老朽化

■公園一帯の基本構想の策定

○平成30年度から策定に着手



基本構想の内容

コンセプト・施設検討

ゾーニング

長期計画

背景

信濃美術館・噴水広場
リニューアル

公園一帯の施設の
老朽化

+

国の
新たな方向性

課題

新たな魅力向上と
集客力の強化

今後の在り方検討が
必要

厳しい自治体財政を踏まえ、
公園の持つ多様性を最大限
に発揮、柔軟に使いこなす

民間活力の活用

多様な機能を引き出す

目指す姿

文化・芸術・レクリエーションの拠点

機能

公共

- ・緑地空間の保全
- ・防災機能の強化
- ・都市のシンボル形成

基本構想

機能

民間

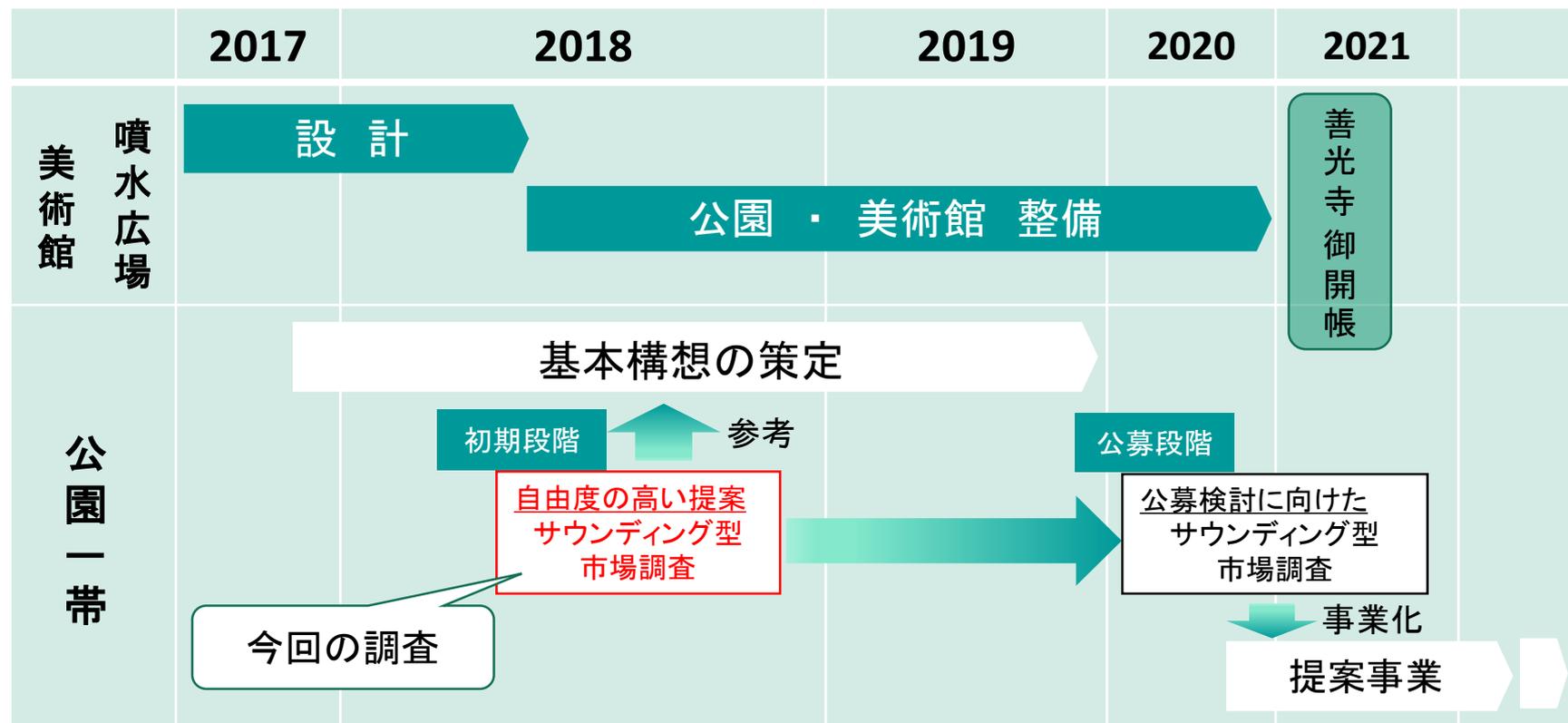
- ・賑わいの創出
- ・周辺地域の魅力向上
- ・国内外からの観光客の誘致など

3 調査目的・調査の位置付け

調査目的

2021年度当初の開館を目標に全面改築を進めている県立信濃美術館の誕生や、既存施設の老朽化に起因する公園一帯の再整備計画における基本構想の参考とするため、本公園が持つ優位性や潜在的な可能性を活かした賑わいの創出や周辺地域の魅力を高める事業手法について、市場動向や民間事業者の持つノウハウを把握することを目的とする。

調査の位置付け



本公園の特性を活かした事業提案

前 提 条 件

- ・事業者が自らが主体となって実施する事業等(管理運営を含む)
- ・提案可能な施設は、原則、都市公園法規定の施設
- ・全ての既存施設を廃止又は再利用した想定での提案も可(一部を除く)
- ・現行の土地利用規制にとられない提案

提 案 の 視 点

事業化が
期待できる
場所

事業内容

- ・事業手法
- ・収益モデル等

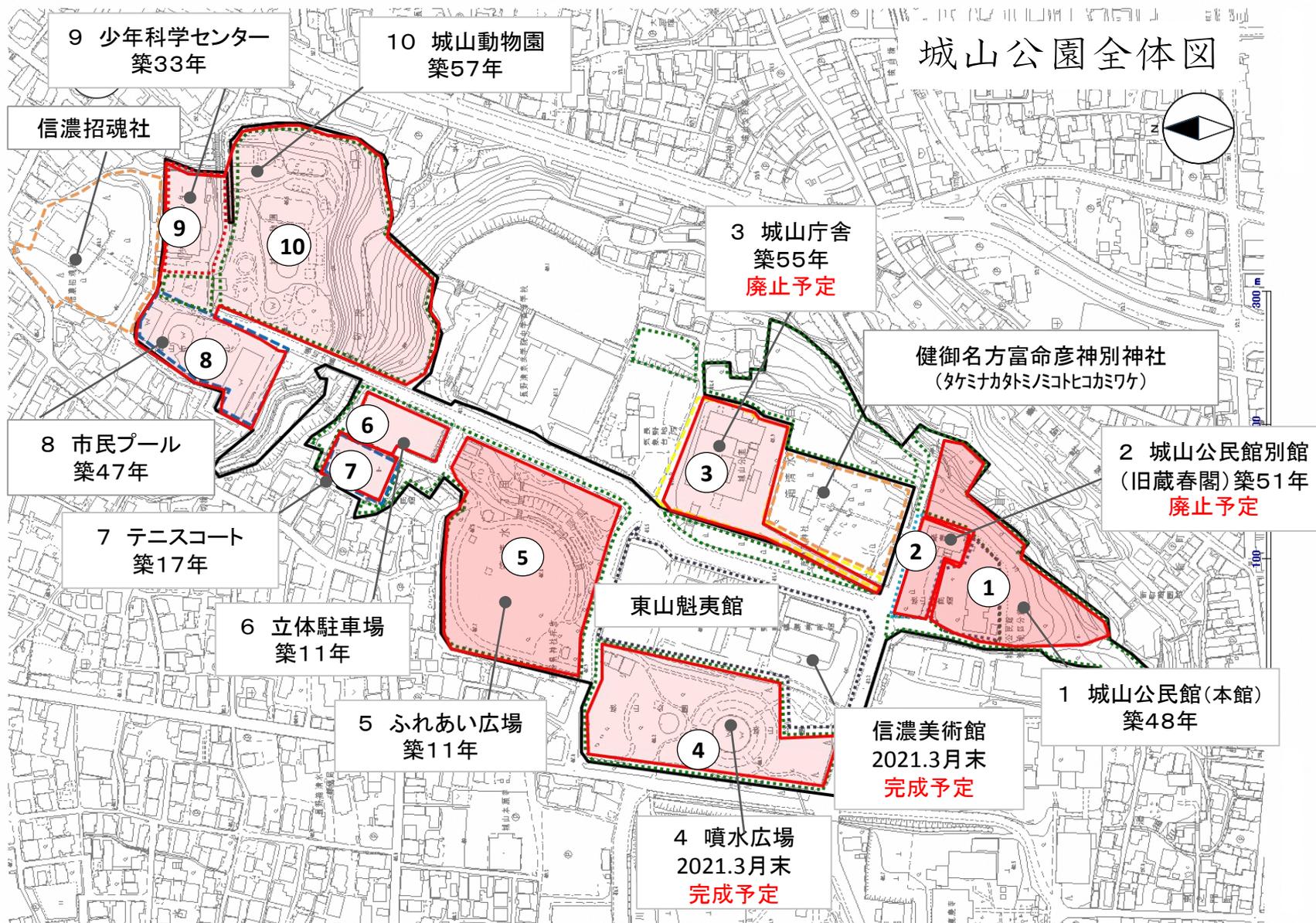
地域との
連携
地域貢献

公園の優位性、
潜在的可能性、
課題等

管理体制の
工夫・管理コ
スト低減策

新たに誕生する信濃美術館周辺の賑わいの創出、
廃止予定とされている施設の跡地利用案などの、
民間活力導入について基本構想の参考とする

5 調査の対象施設(範囲)



提案の内容

○美術館周辺の賑わいの創出や魅力的な使い方のほか、廃止又は廃止予定施設の解体後の跡地活用案も含め、本公園の優位性や潜在的な可能性等の特性を活かした、パークPFIなどによる民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用した事業提案等

【例】

- ・カフェ、レストラン、売店等
- ・展望機能を備えたカフェ、レストラン、売店等
- ・噴水広場とふれあい広場が一体的に利用できる空間となるようなアイデア等
- ・芸術と文化をテーマとしたエリアにふさわしい、ファニチャー、遊具、壁掛け時計の提案
- ・期間限定のキッチンカー、コンテナカフェなどの仮設店舗の出店
- ・駐車場の整備、管理、運営
- ・全天候型屋内子ども遊び施設と子育て支援施設を備えた複合施設
- ・プール、科学センター、動物園が一体となった複合施設
- ・公園を活用した自主事業や管理体制の工夫による管理コスト低減策

